



さいたま市水道局キャラクター
「ピッチ」「チャッピー」

テレビ広報番組を通じた水道の魅力発信 ～『のびのびシティさいたま市』の活用～

さいたま市水道局

1. 抱えていた課題

水道事業は市民生活に不可欠なインフラである一方で、その事業内容や取組は外から見えにくく、市民の関心や理解が十分に浸透していない状況にあった。また、水道管の老朽化対策や耐震化などの重要施策についても認知度が低く、事業の必要性に対する理解が十分とは言えなかった。このため、事業への理解促進と信頼性の向上が大きな課題となっていた。

2. 広報活動概要

テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」では、水道水のコストパフォーマンスをはじめ、水道管の更新・耐震化や漏水修繕のデモンストレーション、工事現場の見学、小中学校における飲用水道直結化の取組など、専門的で難解になりがちな水道事業について取り上げた。番組では、認知度の高いレポーターが現場取材や体験型企画を通じて、これらの内容を楽しく分かりやすくレポートしながら紹介した。

さらに、同番組を核としてYouTube配信と連動した広報を展開することで、若年層を含む幅広い世代の市民に対し、視覚的かつ実感的に理解できる情報発信の機会の拡充を図った。



令和7年度のレポーター「たんぽぽ」さんと「根本玲奈」さん

3. 広報活動の狙い

- 「専門的で難解になりがちな水道事業」を“楽しく・わかりやすく”伝達
- 「見えないインフラ」の重要性を可視化
- 体験型企画による、高い視聴者参加意識
- 視覚的・映像的な説得力
- YouTube配信により視聴機会を拡大し、若年層を含む幅広い世代の市民への情報発信を実現

テレビで見ると
楽しく学べるね！



水道水の試飲



老朽管更新事業の説明



漏水修繕デモンストレーション



水道管の漏水修繕体験



工事現場見学



小中学校飲用水直結化事業の紹介

4. PRポイント

認知度の高いレポーターによる現場取材や体験型企画を通じて、普段は意識されにくい「見えないインフラ」の重要性を「見える化」し、わかりやすく伝えることができた。さらに、テレビ放映とYouTube配信を組み合わせた広報により、多様な層へ効果的にアプローチができるとともに、SNS上での二次的な拡散も期待できる点が特徴である。インフラの維持管理から教育現場までの幅広い内容をテレビ広報番組を活用して発信し、視聴者の参加意識を高める体験型広報を展開しことで、生活に直結する水道の重要性への理解が深まり、事業への信頼性向上につながった。



▲番組はこちらから
ご覧ください

業務部水道総務課

TEL : 048-714-3069

E-mail:suido-somu@city.saitama.lg.jp